

みはら情景 わたしの思い出

和田沖干拓



船からパイプが延びている干拓工事のようす



対岸からは、干拓地にできた工場の木々の緑が眺められる

笑い声が響く干潟



橋本 重興さん
(貝野町)

「近所の子供たちは、みんな泳ぎが得意でしたよ」

「当時は海岸線に沿って民家が並んでいて、満ち潮のときは海へ飛び込んで泳いでいました。貝・小魚・カレイ・テナガダコ・クルマエビなど、魚類の宝庫で、水もきれいでしたよ」と子どもの頃の思い出を語るのは貝野町在住の橋本重興さん。昭和25年に和田沖干拓事業が着工される以前は、現在の国道185号のあたりまでが海でした。

貝野町周辺は、海と山がとて近く、自然豊かな環境の中で育った橋本さん。特に、引き潮のとき、干潟ができるのがとても楽しかったですといえます。「近くに広場がなかったので、干潟ができると友だちが自然に集まって、ソフトボールをしていました。はだして走り回り、元気がよかったですよ」と橋本さん。また多くの人が潮干狩りにやって来て、あさりなどをとって帰りました。

干拓が行われてから、景色がずいぶん変わりました。海は見えなくなりましたが、工場の脇に植えられた木々の緑が気持ちよいといえます。また須波町の方へ向かうには、くねくねとした細い一本道を利用していましたが、広くまっすぐな道ができ、便利になりました。夏祭りの花火大会は、毎年恒例の楽しみになっているそうです。

サンフレッチエ広島 応援バスツアー

とき 10月15日(日) 15時
キックオフ

ところ 広島ビッグアーチ
集合 12時 リージョンプラザ北側

対戦相手 FC東京

定員 40人(多数の場合抽選)

参加費 大人 ¥1,840円、
小中高生 ¥560円

小学生以下は保護者と一緒
に。

申し込み 29日(金)(当日必
着)までに往復はがきに参
加者全員の住所、名前、年
齢、電話番号を記入し、三
原広域市町村圏事務組合
(〒723-8601 港町三丁目5番1
号地域振興課内 ☎0848
67184)へ



税の納期

国民健康保険税(第3期)
介護保険料普通徴収(第3期)
納期限 10月2日(月)

税金・保険料は納期限までに納めましょう。

あとがき

このところ毎年のように夏バテに苦しんでいます。花粉症に悩む春よりも、暑さ負けする夏が、一番苦しい季節になりました。熱帯夜が続く、寝苦しい日々。それでも、やっさ祭りも終わり、お盆も過ぎると、夜間、窓から入ってくる風の温度が、いっくら涼しくなってきました。先日、虫の鳴き声を聞いたときは、秋の気配が感じられ、うれしくなりました。長期予報によると、今月の日中はまだ暑さが続くとのこと。あと数週間、涼しい寝具、ぬるめのお風呂、スタミナ食など、それぞれ工夫しながら、厳しい残暑を乗り切りましょう。そうすれば、味覚の秋はすぐそこです。(秋の味わいの方は、食欲の秋だけではないのよ。と言いたげな周囲の視線には負けません。広報係は体力勝負(ま)



● 三原市の人口 ●	
(7月31日現在)	
世帯数	43,315世帯(+558)
人口	105,383人(-291)
男	50,553人(-34)
女	54,830人(-257)
()内は前年同月との比較	

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。